

平成22年度からの繰越事業

平成22年度に予算を計上し、平成23年度に事業を実施する主なものは次のとおりです。

○きめ細かな臨時交付金・光をそそぐ臨時交付金活用事業

1億5,797万円

国の交付金を活用して、その趣旨に基づき、次の事業を行います。

ただし、事業費が交付金上限額に達した時点で事業を打ち切りとします。

- ・コミュニティバス整備事業
- ・情報関係機器整備事業
- ・道路維持事業
- ・道路新設改良事業
- ・橋りょう維持事業
- ・小型ポンプ整備事業
- ・東峰消防屯所整備事業
- ・有住中学校屋外用トイレ設置事業
- ・校舎壁面塗装事業
- ・図書等整備事業
- ・民俗資料館屋根修繕事業
- ・栗木鉄山跡石垣復元事業

○災害救助・災害復旧事業

4,400万円

東日本大震災の復興支援及び被災した建物・道路などの復旧事業を行います。

- ・仮設住宅建設事業
- ・地域情報通信基盤施設整備事業
- ・道路災害復旧事業
- ・住宅災害復旧事業
- ・農地、農業用施設災害復旧事業

在宅介護の家族を労います。

家族介護者手当事業
515万円

在宅で重度の要介護者（要介護度4・5）に該当する方を介護する家族に対して、手当を支給します。

地域の個性をとらえ多面的にサポートします。

集落支援員設置事業 940万円

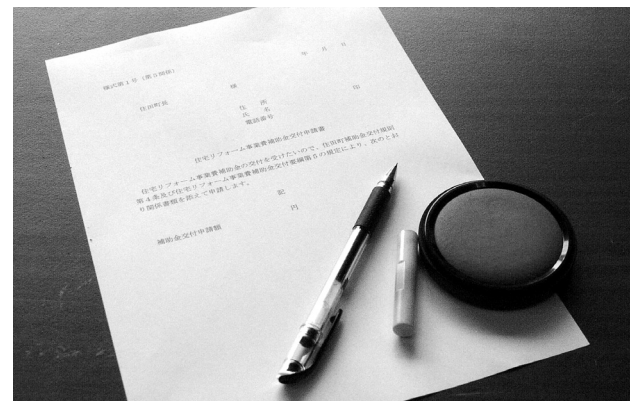


地域の実情を探り、課題を共有しながら、そこに暮らす住民の希望のもとに、医療・介護・地場産業等多方面にわたりサポートする支援員を設置することで、地域の活力に繋がります。

住宅のリフォーム費用を補助します。

住宅リフォーム事業費補助金 750万円

より快適で安心な住環境整備に係る経費に対し、補助します。



消防施設・消防設備を整備します。

自動車ポンプ購入事業 1,869万円
恵山消防屯所建築事業 1,734万円

老朽化した消防屯所を新築し、また、自動車ポンプを更新整備することで、消防体制の強化を図り、地域の暮らしを守ります。



主な新規事業

(写真はイメージです)

子ども達が元気に交流できる公園を整備し豊かな想像力を育みます。

遊具公園整備事業 3,944万円

子ども達が安心して遊び、交流できる公園を整備することで、一人ひとりの個性を伸ばし、運動機能の向上を図るとともに、子育て世代の情報交換の場を創出します。



教育支援の充実をはかります。

きめ細やかな児童生徒育成支援職員設置事業
1,124万円



各小中学校が教育実践において、特に力を入れたい分野の教育体制を充実させるため、町独自に職員を配置し、子ども達をサポートします。

町独自に米飯給食を提供できる施設を整備します。

米飯給食施設整備事業 1億3,402万円

子ども達に、地元産米を使用した安全・安心な米飯給食を提供し、地域産業の活性化をはかります。



住田テレビの制作スタジオを整備します。

住田テレビスタジオ設備整備事業
2,000万円

よりわかりやすく充実した情報番組の提供を目指します。

住田町を 年収500万円の家庭 に例えると



町の予算を年収500万円とした場合、次のように例えられます。

収入・支出ともに内訳のバランスを保ちながら、生活を支えていくことが大切な課題です。

■ 収入

給与（町税など）	83万円
親の援助、公的補助（地方交付税など）	314万円
貯金の取崩し（繰入金）	44万円
借金（町債）	59万円

■ 支出

食費（人件費）	112万円
介護費用など（扶助費）	40万円
ローン返済（公債費）	72万円
家の増改築（普通建設事業費など）	81万円
教育費・光熱費など（物件費など）	195万円